

2019年5月20日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 フ ル ッ タ フ ル ッ タ

代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 C E O 長 澤 誠

(コード番号：2586 東証マザーズ)

問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 徳 島 一 孝

TEL. 03-6272-3190

2019年3月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2018年5月18日に公表いたしました2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の業績予想と実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想と実績値との差異(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2018年5月18日)	百万円 1,290	百万円 △365	百万円 △390	百万円 △395	円 銭 △263.42
今回発表実績(B)	1,221	△751	△779	△795	△410.50
増減額(B-A)	△68	△386	△389	△400	
増減率(%)	△5.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	1,104	△537	△568	△586	△390.98

2. 通期業績予想との差異の理由

当社は、戦略的商品である「PRESS」(冷凍半製品を解凍しチルド製品として出荷)が予想以上に販売好調であったため、売上において、ほぼ予算を達成する状況となっております。しかしながら、課題であるアサイー原材料在庫の消化につながるリテール事業の主力製品である、FRUTA Aca iシリーズ(カート缶、大容量等)等の販売が不振であったことと、2019年3月発売した新製品アサイーエナジー、アサイーベーシックの導入及び個店舗向けの製品開発の遅れ等により、アサイー原材料の将来の消化見込みについて検討した結果、原材料在庫の評価損375百万円を原価に計上するに至りました。結果として利益面において2018年5月18日に公表した業績予想を大きく下回ることとなりました。

3. 今後の取組みについて

当社は、今期の評価損を、来期に計画以上のアサイー販売を進める事で、利益の獲得につなげ、来期以降の業績回復に反映させてまいります。さらに、アサイーの購入動機につながるエビデンスを今後発信することで、アサイー原材料の販売を加速させ、さらなる消化に努めてまいります。

株主、投資家をはじめとする関係者の皆さまには、多大なるご迷惑、ご心配をおかけしておりますことを心からお詫び申し上げます。何卒引き続きご支援、ご鞭撻のほどを宜しくお願い申し上げます。

以上